



中央大学

CHUO UNIVERSITY

CHUO UNIVERSITY

グローバルな視野と実地応用の力で、 多様化する社会での人類の発展に貢献する

地球規模の課題に
寄与するため、全学横断的な
研究基盤を整備

2019年4月、イギリスの

高等教育専門誌『THE』が、
「THE University Impact
Ranking 2019」を発表した。中

央大学は「気候変動に具体的な
対策を（ゴール13）」、「つくる
責任つかう責任（ゴール12）」、
「平和と公正をすべての人に
（ゴール16）」が強みと評価され
た。各分野において国際的な共
同研究が進められていること
に加え、経済学部が主導する
「多摩ニュータウン街づくり
ワークシヨップ」をはじめとした
フィールドワークなどの実績も
この評価につながった一因だと
いう。「本学は301+のグルー
プで、SDGsへの取り組みを
強化する段階だが、ランキング
の結果を真摯に分析し、今後の
糧にしたい」と研究推進支援
本部長の加藤俊一教授は話
す。目下の課題は、SDGs達成
に向けて、組織の枠を超えた協
働体制を強化すること。「その
ために、SDGsを軸にした学
内研究者同士のマッチングや、

学部・研究所の横断的な連携
で、課題に対して複合的にア
プローチしていきたい」と加藤教
授は力を込める。

中央大学に受け継がれる

実学主義のDNA

1885年の建学以来、実社
会が求める人材の育成に力を注
いできた中央大学はSDGs策
定に先駆けて、地球規模の課題
解決に積極的に取り組んでき
た。国連と高等教育機関の連携
を推進する「国連アカデミック・
インパクト」に最初の立ち上げか
ら参画し、日本における情報発信
を担う幹事校として国内大学を
牽引。いわゆるリケジョの支援
にもいち早く取り組んできた。
2015年には「UN Women」
による男女共同参画に向けた国
際的なキャンペーン「He For
She」の趣旨に賛同し、女性が輝
く社会の実現に向けてシンポジ
ウムや学生によるキャンペーン
活動を推し進めてきた。「この時
期にジェンダーのみならず、ダ
イバーシティに対する本学の見
解を社会に発信すべき」という機
運が高まり、2017年に『中央

大学ダイバーシティ宣言』を策
定した」と加藤教授は当時を振
り返る。この宣言に基づき、学
校法人の組織的・具体的な取り
組みを推進する「中央大学ダイ
バーシティ推進委員会」を設
置した。

このように、人類の福祉への
貢献を見据え、早期からさまざ
まな改革を進めてきた。この流
れをさらに確実にするため、中
長期事業計画「Chuo Vision
2025」における2019年度の
重点政策には、SDGsに対する
取り組みの強化を盛り込み、世
界が抱える課題解決への姿勢を
明確化した。「本学は実学主義に
基づき、社会的な働きかけがで
きる人材の育成や研究を進めて
きた。SDGsが掲げる目標の
達成に寄与することも、教育・研
究に並ぶ大学の使命ととらえ、
邁進していきたい」（加藤教授）



加藤 俊一
研究推進支援本部長